

播磨町バリアフリー・ニュースレター

播磨町駅周辺の移動円滑化に向けた検討を進めています

播磨町では、平成 18 年 12 月に施行されました「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」をふまえ、公共交通（鉄道・バス）等を利用した円滑な移動によるバリアフリーなまちづくりに向けた検討を進めています。

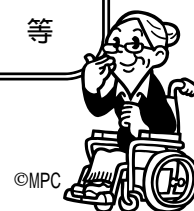
「播磨町バリアフリー基本構想」を年度内に策定する予定です。この構想では、町内でも特に重点的・優先的に整備を行う必要がある地区として「播磨町駅周辺」を想定し、播磨町駅やその周辺の歩道や施設等のバリアフリー化をめざすこととなります。

「バリアフリー化」とは？

施設や経路（歩道等）を、誰もが安全に安心して移動できるようにバリア（障壁）を除去する対策を考えていきます。例えば、

- ・ 歩道の勾配の改善や平坦性の確保
- ・ 視覚障がい者誘導用ブロック（点字ブロック）の適切な設置
- ・ 階段や段差の解消
- ・ わかりやすい施設への案内やサインの充実
- ・ 音響信号の設置
- ・ トイレ、エレベーター、エスカレータなどの位置等を知らせる音声案内の充実
- ・ マナーの向上をよびかける広報や啓発

等



©MPC

ワークショップを開催し、たくさんのご意見をいただきました

播磨町や播磨町駅にどのようなバリアの問題や課題があるのかを住民の皆さんから意見収集するため、ワークショップを平成 23 年 8 月 3 日に開催しました。

当日は、高齢者、障がい者団体の方など、17 名がご参加いただきました。グループに分かれて意見交換を行い、町内のバリアについてたくさんのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、今後の検討の参考にさせていただきます。

<いただいた主な意見>

播磨町駅舎は階段しなかないため、車いす利用者等は利用できない状況でなんとかしてほしい

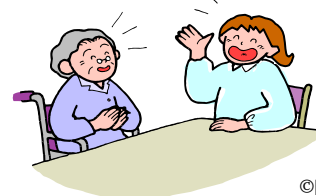
播磨町駅の中に車いすでも利用できるトイレを整備してほしい

地下道のスロープは急でお年寄りも移動が大変

凸凹していたり、傾斜がきつかったり、危険な歩道がある

自動車の交通量が多く危険な区間や箇所がある

自転車がスピードを出して走行しているので怖い



©MPC



グループで話し合う様子



まとめられた意見



北川会長の総評

アンケート調査にご協力ありがとうございました

バリアフリーに対する住民の方の意見やニーズを把握するため、7月にアンケート調査を実施しました。全住民からの無作為抽出(2000部)や高齢者団体、子育て家庭等にご協力いただき、764部の回答を得ました。

播磨町におけるバリアフリーの推進について

播磨町におけるバリアフリー化について、「積極的に進めてほしい」が最も多く51%、「進めてほしい」が39%でした。全体で90%の人がバリアフリー化を推進してほしいと答えました。

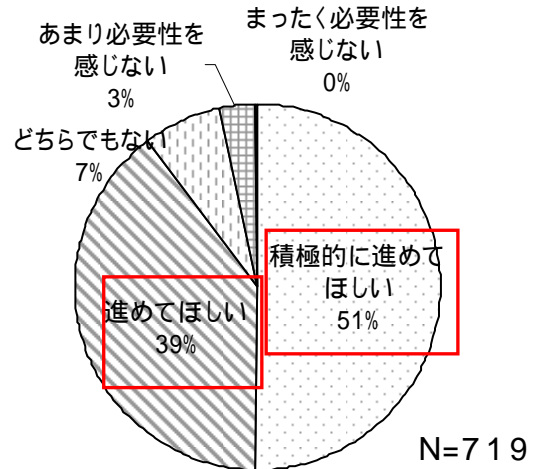


図 播磨町のバリアフリーの推進

播磨町駅周辺の重点整備について

播磨町駅周辺を重点的に整備することについて「賛成である」と答えた人は77%でした。

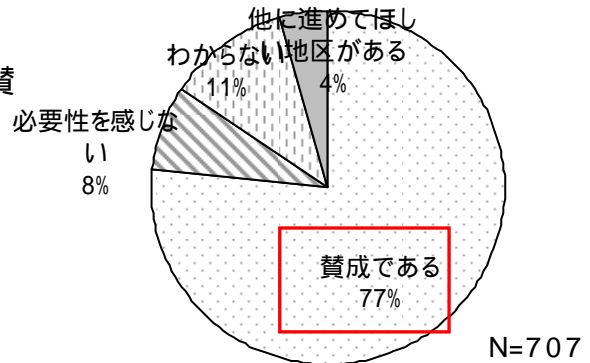


図 播磨町駅周辺の重点整備について

播磨町駅の今後の整備について

播磨町駅を今後利用しやすくするために整備を進めていく必要がある項目は、「エレベーター等をつけて、移動しやすくする」が最も高く、次いで「高齢者、障がい者、乳幼児連れの方など、誰でも利用できるトイレを充実する」でした。

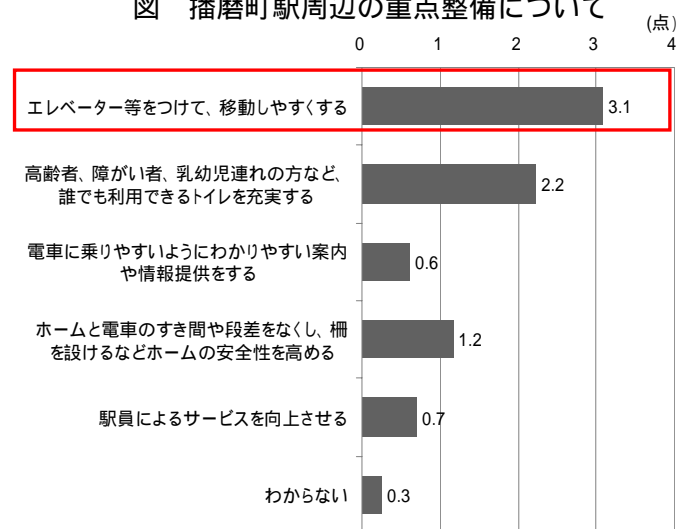


図 播磨町駅の今後の整備について

播磨町バリアフリー基本構想策定協議会

「播磨町バリアフリー基本構想」の策定は、学識経験者、高齢者、障がい者等の代表、福祉団体等、関係行政機関、関係事業者等で構成される「播磨町バリアフリー基本構想策定協議会」で検討が進められています。